

「夢わくわく講座」に参加 土木の魅力アピール!!



「夢わくわく講座」とは、
1. 講師の話聞くことで、将来の夢に向かうためのものの見方などを身につける。
2. 社会観・人生観に触れることで自立した社会人に成長していくための心構えや目標を持ち、学習意欲を高めるきっかけとする。
3. 地域に根差した企業の取組に触れる機会を通じて、郷土に対する愛着や誇りを感じる。
ことを目的に、5・6年生を対象に学校が実施しているものです。

【講師紹介の始めの会】

令和5年12月5日(火)、七戸町立天間林小学校において「夢わくわく講座」が開催され、5、6年生約90名を対象に、宿泊業、医師、自衛隊、青森県整備企画課の各種業界から4人の講師がそれぞれの分野で講義を実施しました。

青森河川国道事務所では、県職員と一緒に「建設分野のデジタル技術を体験してみよう」ということで、通常のデジタルカメラやスマートフォンで撮影した写真から、3次元点群データを作成することを体験してもらい、土木の魅力を伝えてきました。



【青森県による講義
「インフラってなに？」】



【作成したデータを確認中】



【跳び箱を三次元化】

跳び箱や友達などの被写体の周囲をグルッと一周撮影することや、デジカメでカニ歩きで連続写真を撮ることで、右のような3次元点群データが作成できます。

出来たデータは、マウスや指で回転してみることができ、生徒たちも熱心に取り組んでいました。



【体育館の後ろ側】